

公益社団法人 鳥取市シルバー人材センター

シルバーとっとり

会員数 694人 (男 460人 女 234人)
(平成25年12月18日現在)

vol. 60



【発行所】

公益社団法人 鳥取市シルバー人材センター

鳥取市富安2丁目104-1

TEL 0857-22-0050

FAX 0857-22-0051

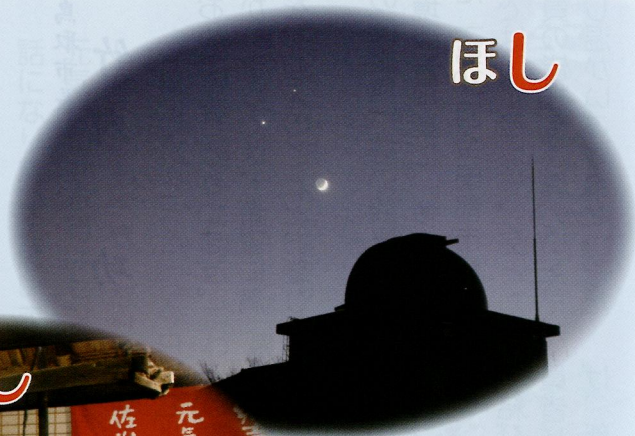
E.mail:tottori@sjc.ne.jp

URL:www.tottori-sjc.or.jp

わし



ほし



はなし



ご五し



なし

いし



ご五しの里

さじの「五し」とは

佐治地域の宝である「五つの〇」

「梨(なし)」「和紙(わし)」「話(はなし)」「石(いし)」「星(ほし)」のことです

目次

次

新年のごあいさつ	… 2	にこにこ広場	… 7
午年会員新年の抱負	… 3	普及啓発活動実施	… 7
地域社会参加活動	… 4	第13回安全大会について	… 7
会員年末懇親会	… 4	(安全就業標語の募集)	
発注者へのアンケート調査を実施	… 5	入会説明会・就業相談日	… 7
「中国ブロック役職員研修会」に参加して	… 6	事務局インフォメーション	… 8
高齢者交通安全教室を受講して	… 6	講習会の開催について	… 8

新年のごあいさつ

公益社団法人 鳥取市シルバー人材センター



理事長

西根 弘康

皆様には、新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、「第30回全国都市緑化とっとりフェア」開催に伴い約200人の会員の皆様に植物管理ボランティアを行っていただき会場を盛り上げる一助となり、心から感謝申し上げます。

また、就業につきましても、重篤事故もなくこの一年を締め括ることができ、その



鳥取市長

竹内 功

新年明けましておめでとございます。

会員の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、「砂の美術館」等の観光地およびまちなかの環境改善事業に、多大なご尽力を賜り、また「第30回全国都市緑化とっとりフェア」では、ボランティアとして200人も会員の皆様にご協力いただきなど、市政に対し温かいご厚情をいただ

上、就業機会や女性会員数、就業率等も順調に伸びており、充実した年になったと感じております。

今年も、安全就業に重点を置き、皆様とともに無事故を目指してセンター運営に努めてまいります。

また、行政機関等とも連絡調整を密にしながら、環境整備等社会参画にも力を注ぎ、地域との信頼関係を築いてまいる所存です。

関係各位にはお元気で、更に午年にあやかり華やかな存在感のある一年となりますようご祈念申し上げて年頭のご挨拶とさせていただきます。

しまして誠に有難うございました。

会員の皆様が長年にわたって培われた経験や技能を活かし、地域に貢献をされていることに対し、深く敬意と感謝の意を表する次第です。

今年も皆様と共に、第九次鳥取市総合計画の基本理念である「人を大切にするまち」づくりを推進いたしますとともに、高齢者の生きがい創出の場であるシルバー人材センターの支援になお一層努めて参ります。

結びに、貴センターの益々のご発展と会員皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

謹賀新年

新しい年を迎え、会員並びにご家族の皆様と、関係各位のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

公益社団法人 鳥取市シルバー人材センター

- 理事長 西根 弘康
- 副理事長 徳田 邦子
- 専務理事 山崎 年憲
- 兼事務局長 佐々木 純子
- 理事 福田 賢太郎
- 理事 原 富男
- 理事 寺本 敏昭
- 理事 小塩 幸子
- 理事 岡西 輝夫
- 理事 田中 勉
- 理事 伊藤 茂樹
- 理事 太田 義久
- 理事 吉田 一男
- 監事 花原 好恵
- 監事 藤本 保

事務局職員一同



午年会員新年の抱負



浜坂班

河本富美子 (72)



シルバー人材センターの会員に入会して3年過ぎました。最初は

戸惑いもあり、皆様に助けられて頑張ってきました。体を動かしての年で働く喜びが出来、入会してよかったと思いい感謝しています。いろいろなイベントにも今年は参加しようと思いい、時間が許す限り迷惑をかけない様にしたいです。どうかよろしくお願いい致します。

美保南班

福井紗智子 (72)



子育ても一段落の頃、友人がシルバー人材センターで活動して

ることを知りました。

専業主婦の私に「何か出来ることがあるかしら」、「今までと異なった世界があるかしら」と思いながら入会しました。最初は戸惑いの連続でしたが、まわりの方々に教えて頂きながら今日になりました。歳も大きくなりましたが、元気で動ける間はセンターでお世話になりたいと思いいいます。

面影班

西川 郁恵 (72)



60歳半ばに友人に誘われて入会致しました。最初は除草

班で、主に草取りの仕事をしていましたが、現在は食事の介助の仕事に携わっています。ほとんどの人が車椅子での生活であったり、自分でわかっていても話すことができない人や、認知症の人などいろいろな人と接する中で、対応の

末恒班

有田 隆延 (60)

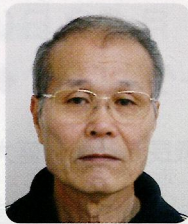


今年は充実した年にしたいと思いいます。

願いいいたします。

国府班

太田 始 (72)



月日の経つのは早いもので、シルバー人材センターに入会して5

年半が過ぎました。最初はいろいろと不安もありましたが、今では仕事を通じて人との出会いもあり、仕事にも慣れて自分の健康維持と、人様の役にたつと同時に喜んで頂き、楽しく元気で頑張っていくきたいと思いいいます。年齢を重ね

用瀬班

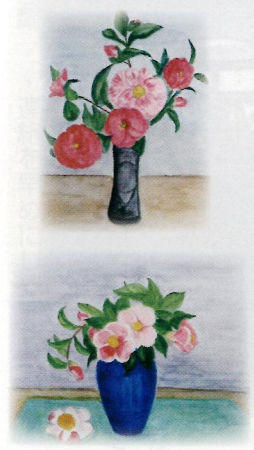
岡本 公孝 (72)



私は建具職で仕事をやって来ました。やめてからシルバー人

てからも仕事をさせて貰える事を大変嬉しく思いい、感謝しております。今後ともよろしくお願いい致します。

材センターの会員に入会。早5年になりました。自分の職業にあった、襖・障子・網戸の張替の仕事と他にいろいろさせて頂いてます。依頼者から「きれいになった」と言われる時が一番うれしいです。これからも会員同士仲良く就業させて頂いて。暇があれば健康のために色々スポーツをやっています。今後ともお世話になりますがよろしくお願いいします



地域社会参加活動

第30回全国都市緑化

とっとりフェア開催

9月21日より11月10日まで湖山池を主会場として全国都市緑化フェアが開催されました。当シルバー人材センターからは、全地域班より約200人の会員が植物管理ボランティアに参加し、来場者にきれいな花々をゆったりと楽しんでいただきました。湖山池とススキ・花々のコラボレーションは、気ぜわしい毎日を過ごしている私たちに憩いのひと時をプレゼントしてくれました。すてきな緑化フェアの開催運営に尽力された方々、ありがとうございました。



会員年末懇親会

◆日時 11月29日(金) 12時～15時

◆場所 レーク大樹 ◆参加者 105名

市長・副議長を迎え、盛大に懇親会が開催されました。

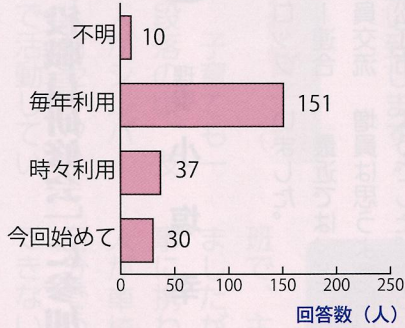
平素は会うことのない会員同士も楽しく談笑し楽しいひと時を過ごしました。新年度の互いの躍進を誓い合い田淵精一郎会員の納杯で閉会となりました。



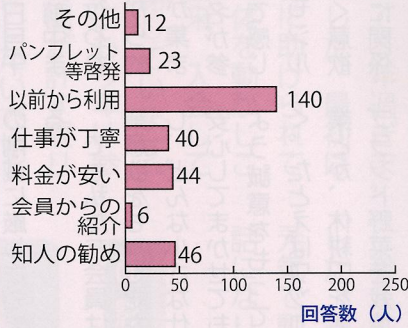
発注者へのアンケート調査を実施

平成25年8月に発注者満足度調査を実施しました。結果は次のとおりです。

1. センターのご利用は



2. ご利用のきっかけ (複数回答)



1. 対象

平成25年7月にセンターをご利用されたお客様

2. 調査方法

500人対象、はがきによる回答(無記名方式)

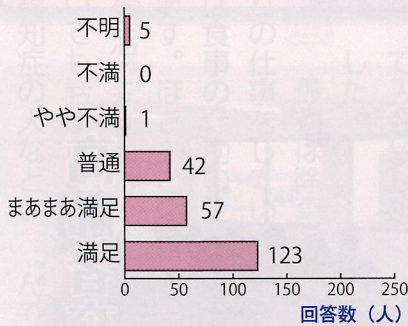
3. 調査期間

平成25年8月

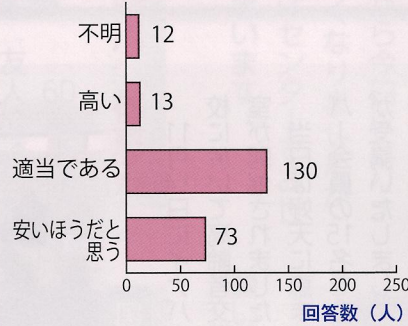
4. 回答者数

228人(45.6%)

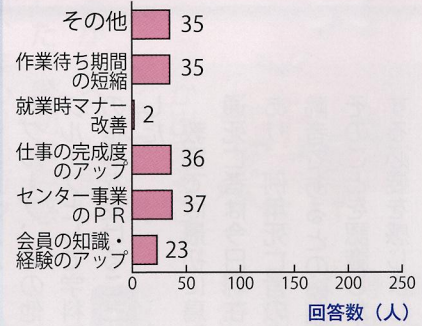
3. 仕事の出来ばえ



4. 仕事の請求金額



5. 今後センターに望むこと



お客様さまからの声 (抜粋)

(25・8月実施)無記名方式

◆襖張り・障子張り作業

《感謝・励ましの声》

- またよろしく願います。シルバー人材センターが利用できて助かっています。

◆草刈り・除草作業

《感謝・励ましの声》

- 昨年、今年と作業をしていただきました(同じ)。大変いいので、当方は大変満足し暑い時期にもかかわらず感謝の気持ちで一杯です。今後も利用させて頂きたいと思います。ありがとうございます。
- きまった時に約束通り作業して頂き、とても喜んでおります。友達にも紹介し喜んでもらっています。これからもずっとお願いしたいと思っています。
- 遠方より依頼しており現地には立会い出来ておりませんが事後に確認して満足しております。

《助言・要望・ご意見》

- 今までは2名で来てくださいましたが、最近3人になりました。庭の除草をたいい2日間

来ていただいています。2人役で2日間が適当で、3人役2日間だと費用の点が多いです。御一考をお願いします。

- 丁寧にして下さっています。

が今少し仕事の内容について知識を持ってください。

- 庭が広いので次回は必要のところだけお願いして以前のように2万円程度で仕上げただけと有り難いです。次回は、必要なところをハガキに書き込みますのでよろしく願います。

◆剪定作業

《感謝・励ましの声》

- 言葉、態度、作業とも大変熱心で好感がもてる。

《助言・要望・ご意見》

- 近所の人から剪定の料金を聞かれるが同じ作業でも年によって金額が違うので説明しづらい。
- 連絡を早めにしてほしい。

「中国ブロック役員研修会」に参加して



理事 小塩 幸子

平成25年度中国ブロック

シルバー人材センター連合協議会による「役員交流研修会」が、島根県松江市でありました。第1日目午後より第2日目の午前中まで2日間の日程で行われました。中国5県から約200名の役員が集まり、当センターも2名が参加しました。この会で感じた事は、これからもシルバー会員は健康と働く意欲と仕事があれば年齢に関係なく働く事が出来ると思えました。

この実現に向けてシルバー人材センターの仕事はサービス事業としてとらえ、お客様と信頼関係を大切にしていかなければならないと感じました。お客様の話し合いや、仕事の態度なども慎重にしていこうと大切な一つであると思

いました。

最近では、どことも会員増員は思うようにいかないようでした。さらに予算等の削減に厳しさもましている。

でも私たち会員は高い就業意欲をもって能力を活かし、どんな小さな仕事でも安心してまかせてもらえるよう誠意をもってしていく。たとえばワンコイン事業とか、休耕田を活用してブランド野菜を栽培し、販売等工夫されているところもありました。

誠心誠意仕事をして、PRが充分でなかったり、言葉の行き違いもある。しかし、私たち会員は接遇や技術を勉強し自信をもって、就業仲間や事務局の強いサポートで仕事をさせてもらっていると感じた会でした。

高齢者交通安全教室

受講して



障子班 森原 隆一郎

11月14日にイナバ自動車学校に於いて高齢者交通安全教室が開催されました。

当日は好天に恵まれ、シルバー会員の15名を含め、29名が受講いたしました。

受講はシルバー会員15名をAグループ、その他14名をBグループとして学科及び実技の指導を受けることになりました。

教室では最初に鳥取県の交通死亡者は今日現在で26名であり、例年死亡者の半数が高齢者であるとの説明があり、そのことを認識した上で受講する必要を感じました。

次に、動体視力・夜間視力・静止視力・視野検査を実施して頂き、現在の自分の視力状況を把握することができてよかったです。そして、最後にコース走行を行い、左折、右折時の車線変更、S字走行、方向転換・停止線での完全停止等々、走行上の注意すべき事項の指導を受けました。日常でも高齢を自覚して確認を行い、早めの対応を心掛けた運転をしなければと思います。

その後、記憶力テストが行われました。16個の絵を見て、時間をおいて何の絵であったか記入した後採点されましたが、半分程度しか記憶できず、注意力、集中力が希薄になっているように思った次第です。

次にAグループは3人づつ5台に分かれて乗車し回避を行いました。

回避走行では時速30kmを維持して、何かが突然飛び出したと仮定し、障害物の直前に信号が点灯し、左右に回避して、機敏性、俊敏性を見るのが目的と思われるが、1.5秒前に障害物に気付いても、回避は困難でありましたので、日頃から早めに減速して対応するよう心がけることが必要であると痛感いたしました。

今回の高齢者交通安全教室は受講者全員が大変熱心に受講されて、安全意識を高めました。大変有意義な受講内容であったと思います。



にこにこ広場



11月19日にとりぎん文化会館で、にこにこ広場を開催しました。11月は、児童書を楽しむ会つくしんぼの山田節子さんをお招きし参加頂いたお母さん、子どもさん、ばあばもみんなが楽しい時間を過ごしました。山田さんは鳥取市の乳児健診時のブックスタートに関わっておられ、月齢にあわせてわらわら遊び、絵本の読み聞かせなど紹介していただきながら一緒に楽しみました。毎月のにこにこ広場でもばあばと一緒に楽しみましょう。待っています♪

(家事援助班)

普及啓発活動実施

毎年一斉に実施される、「全国シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」の活動として当センターでは、平素のご利用へのお礼と発注者のご意見をお聞きするために、佐治町から青谷町までの事業所を役員が訪問させて頂きました。就業会員の仕事についてはお褒めの言葉を頂き、引き続きのご利用をお願いしました。

また、シルバー事業を地域に広くPRするため街頭啓発活動を実施しました。トスク本店では、パンフレット・啓発品を配布し就業開拓と会員募集を行いました。「利用しているよ」と

の市民の声も多数聞かれ、啓発活動の効果が感じられました。さらにサンロード内での「いなばのお袋市」等のイベントにも参加するなど幅広く普及啓発活動を行い、地域社会にシルバー事業の理解と協力を願いました。



第13回安全大会について

今年度も高齢者の就業中・就業途上における傷害及び賠償事故が発生しており、高齢者1人ひとりが安心して就業出来るような環境づくりを目指して、左記のとおり安全大会を開催します。

◆日時 3月7日(金)
午後1時30分～午後4時
とりぎん文化会館
鳥取市尚徳町101の5

安全就業標語を募集します

会員皆様の安全意識の高揚を図るため「安全就業標語」の募集を行います。

- ◆応募作品 平成26年安全就業標語
- ◆応募点数 1人3点以内
- ◆応募方法 会員番号、氏名、地域班名を明記し事務局へ郵送、またはご持参ください。

◆応募締切 2月14日(金)

◆選考・表彰 優秀賞1点、佳作点数を選考し、第13回安全大会において表彰します。

入会説明会

◆日時 毎月第2・4火曜日
午後2時～

◆場 所 ※祝日の場合は翌日
鳥取市シルバー人材センター
鳥取市富安2丁目
104の1

◆問合せ先 電話22100050

就業相談日

◆日時 毎月第4木曜日
午後1時30分～

◆場 所 鳥取市シルバー人材センター
鳥取市富安2丁目
104の1

※前日までに予約要



近年の交通事故の特徴と対策

鳥取県警察本部交通部等発刊
「安全運転管理実例集参考」

★歩行中死者の約7割を高齢者が占めている。(高齢者が被害者となる事故及び高齢運転者が起こす事故が多発傾向にあります。)

- ・歩行中の死者のうち65歳以上の高齢者が7割近くを占める。
- ・高齢者の歩行中の死者を昼夜別にみると、夜間が昼間の約2倍も多い。
- ・高齢運転者の死亡事故では、運転操作不適、漫然運転、安全不確認、脇見運転、一時不停止の違反による事故が多い。
- ・高齢運転者の車両相互の死亡事故をみると、出会い頭事故が約4割を占めている。

★対策

- ・高齢者を見かけたら、動静に注意し、スピードを落とし、予想

- 外の行動を想定する。
- ・簿暮時には早めにライトを点灯し、視野を広く保って運転する。
- ・高齢者の歩行者や自転車には、ルール遵守を期待せず、危険行動を予測する。
- ・高齢者マークを付けた車に割込みや幅寄せを絶対に行わない。
- ・交差点では高齢者マークを付けた車にできるだけ進路を譲る。

★自転車事故死者の6割以上が高齢者

- ・自転車事故の8割以上が自転車との事故である。
- ・交差点での事故が7割以上を占めている。
- ・自転車乗用中死傷者の5分の3以上に法令違反がみられる。
- ・自転車、加害者となり、多額の賠償金を支払う事故が発生している。

★自動車を運転する場合の対策

- ・高齢者の自転車が前方を通行している場合には、動静に十分注意を払う。
- ・交差点手前では、その付近に自転車がないか確認をする。
- ・左右折時に歩道や横断歩道を通

- 行する自転車を見落としやすいので意識してチェックする。
- ・見通しの悪い交差点では、自転車の飛出しを予測してスピードを落としておく。

★自転車利用者へのアドバイス

- ・自転車事故に備えるために保険加入を検討する。
- ・自転車も自動車と同様に車両点検を実施し、整備を確実に行う。
- ・自動車が逃げてくれる、道を譲ってくれるという甘い考え方に頼らず注意義務を怠らない。

講習会の開催について

奮ってご参加ください

講習会名	障子・襖・網戸 張替講習会
日時	平成26年2月18日(火)~2月21日(金) 9:30~16:00
場所	公益社団法人 鳥取市シルバー人材センターワークプラザ 鳥取市富安2丁目104-1
講師	会員講師
備考	*障子・襖・網戸の構造と張替技術を取得する。 *作業のできる服装・弁当・飲物持参。 ●受講料 500円 ●定員 20名 ●申込締切 平成26年2月3日(月)

(注) 申込はセンター事務局 電話・ファックスにて受付します。

問合せ先 電話 /0857-22-0050 FAX/0857-22-0051

事務局からのお願い

ご都合で住所や電話番号の変更をされた方は、すみやかに事務局までご連絡ください。

配布物、連絡が取れない等で役員の方が大変苦労されていますので、よろしくお願いいたします。

編集後記



団塊の世代の人たちが現役生活を終え、職場から離れる時代になってきました。しかし、その世代の人たちのシルバー人材センターへの加入率が低いと聞きました。これからの高齢者に必要なのは、「教養」と「教育」です。ではなく、「今日用があること」と「今日行くところがあること」です。シルバー人材センターがその役目を果たせることができれば、加入の促進につながるのではないかと思います。ただし、それにはまた仕事を依頼したいというリーダー先を増やすことと、新たな就業先の拡大、そして会員の方を含むみなさんの協力も必要になるのでは。(Y・O)